

日野病院 病院長 孝田 雅彦

日野病院の孝田雅彦病院長が、さまざまな病気や健康について、その予防法や健康に過ごすための豆知識などお役立ち情報をお届けします。



オリンピック年に流行りだす？マイコプラズマ

朝晩寒さが厳しくなり、布団から出られない季節がやってきました。気がつくると鼻水が出て、咳がこんこんという人もいるかもしれません。インフルエンザかなあ、コロナかなあとなりますが、実は今年マイコプラズマかもと思わないといけません。

マイコプラズマって聞いたことないと言う人が多いかもしれませんが、医者の中では超有名な病原体です。医師国家試験によく出るからです。以前はオリンピックの年に流行するのでオリンピック肺炎と言われていました。最近はその

傾向が薄れていますが、今年はその、パリオリンピックがありました。前回流行したのは2016年リオデジャネイロオリンピックの年です。割と当たっています。2020年は新型コロナウイルスで東京オリンピックが一年延期になったので、流行しなかったのかもしれませんが。とにかく、今年マイコプラズマが流行しています。

マイコプラズマは潜伏期間が2〜3週間ととても長いので、いつ感染したのかわかりにくく、家族内感染が多くなります。感染経路はコロナと同じで飛沫感染と接触感染なので、マスク、手洗い、手指消毒で予防しましょう。発病する人の80%が子どもですが、高齢者や成人も感染する可能性があるため油断はできません。症状の特徴は3〜4週間続く長期の咳で、特に空咳が多いのが特徴です。

診断には迅速抗原キットが有用です。私が若いころ、最初に診たマイコプラズマ肺炎の患者さんは40歳代で元気に働いていたのですが、発熱と咳が続き、

だんだん息が苦しくなってきたといって受診されました。レントゲンではそれほどはっきりした陰影はないにもかかわらず、血中の酸素濃度は80%前半で酸素投与をしました。その頃、迅速キットはなかったので診断が難しく、通常の細菌に対する抗生物質を投与しましたが、熱が下がらないため、マイコプラズマに有効な抗生物質を使用したところ翌日には解熱傾向となり、血中酸素濃度も95%以上と順調に回復しました。

うがい・手洗い…基本的な感染予防を忘れずに

マイコプラズマは一般的な細菌とは異なり細胞壁がない

いたため、通常の抗生物質は効かないという特徴があります。今では細胞壁以外を標的とした抗生物質も多く作られているので、診断がつけば比較的治疗は容易です。ただし、診断が遅れたり、高齢者や慢性肺疾患のある方、脳炎や心筋炎を合併すると重症化する可能性があります。

皆さんの多くはインフルエンザや新型コロナウイルスのワクチンをすでに打っておられ、万全の体制を取っておられると思いますが、今年はマイコプラズマにもご注意ください。基本はうがい、手洗い、手指消毒、マスクです。これらの対策を心がけて、健康に新年を迎えましょう。



誰もが自分らしく 生きていくために

人権啓発講演会及び
第49回日野町人権・同和教育研究集会

【人権啓発講演会】

演題：「インターネット上の人権」

講師：^{まつむら}松村 ^{もとぎ}元樹さん

(公益財団法人 反差別・人権研究所みえ 常務理事兼事務局長)



theme 1

“人権尊重のまちづくりをしよう！” 人権啓発講演会

11月28日、町文化センターで、人権啓発講演会及び第49回日野町人権・同和教育研究集会が開かれました。

講演会では、公益財団法人反差別・人権研究所みえ常務理事兼事務局長の松村元樹さんが、「インターネット上の人権」と題し、講演を行いました。インターネット上から

見えてくる差別や人権侵害

まず松村さんは、インターネットの特性として、次のように述べられました。

▼時間的・地理的制約がないこと ▼これまで以上に人と人をつなげること ▼電子空間は現実社会より自己表現等が容易なこと ▼記録（ログ）が残り、積みあがること ▼情報発信がより容易に、より広範囲に拡散できること

このような特性を持つインターネットは、情報発信や情報収集の瞬時性や、これまでターゲットインゲンでできなかった対象への啓発や教育が可能といった、プラスの面を持っています。しかし、プラスの面だけではありません。差別

や人権侵害行為の容易性、深刻性、拡散性といったマイナスの面も持ち合わせているのです。

「インターネットは匿名性が高く、誹謗中傷の投稿はやろうと思えば誰でもできる。元々、潜在的に差別意識を持っていたような人たちが、スイッチが入ったようにそういう行為に及んでしまう環境下にある」と松村さんは話します。松村さんは、実際にSNSなどに掲載された差別的な投稿を見せながら、解説をしてくれました。

また、最近の差別的投稿の傾向として次のようなものが挙げられます。

- ① 利権・優遇・逆差別などの現代的レイシズム
- ② 善意と悪意が混同する寝た子を起すな論
- ③ 差別をネタに金儲け論・差別がなくなると困る人たち論・当事者責任論
- ④ 不当な一般化論
- ⑤ 誹謗中傷やヘイトスピーチなど

近年、SNSやブログの記事